

長崎県五島市沖における協議会（第4回）

○日時

令和4年8月10日（水） 13時30分～14時30分

○場所

長崎県五島振興局 4階A会議室
（一部の構成員は WEB 会議形式にて参加）

○参加者

経済産業省資源エネルギー庁風力政策室 石井室長
国土交通省港湾局海洋・環境課海洋利用調査センター 榊原所長
長崎県産業労働部 三上政策監
農林水産省水産庁漁港漁場整備部計画課 森田計画官
五島市 野口市長
五島ふくえ漁業協同組合 片山代表理事組合長
五島漁業協同組合 草野代表理事組合長
奈留町漁業協同組合 大久保代表理事組合長
長崎県旋網漁業協同組合 柳村専務理事
長崎県旅客船協会 木口副会長
NTTワールドエンジニアリングマリン株式会社 田島設備管理担当
長崎総合科学大学 池上学長
東京海洋大学 松山名誉教授
五島フローティングウィンドファーム合同会社 牛上職務執行者
環境省大臣官房環境影響評価課 會田課長補佐（※）
（※オブザーバー）

○議題

(1) 漁業影響調査の手法等について

- 五島フローティングファーム合同会社より、資料「漁業影響調査の手法等について」説明。

長崎総合科学大学（座長）

- 漁業影響調査のうち、「漁業関連資料を用いた動向調査」の事前調査と工事中の環境監視で、「文献整理」とあるのはどのような内容か。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 統計的な調査が主体になる。種々のデータが存在するので、事前調査時も工事中も継続する予定である。工事中は騒音や濁り等の環境影響評価に関連する調査を行うが、漁業に関しては魚類に関するデータの収集だけでなく、漁業協同組合など地元へのヒアリングを実施して、監視を行いたいと考えている。

長崎総合科学大学（座長）

- 工事中の漁業への影響監視は、直接的な調査ではなく、文献の調査により行う理解で良いか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 1年半ほどに及ぶ工事期間中、現地で行う調査については言及していないが、少なくともデータの監視は続けていき、何か異変が生じたり、ご意見をいただいた場合は議論することとしている。

長崎総合科学大学（座長）

- 有識者からの意見聴取も計画されているが、委員会のような場を設けることか。または、問題点等が生じたときに訪問して意見を伺う形か。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 資料には長崎大学の二名を挙げているが、調査の内容や結果に対する意見聴取を行う予定である。また、他の専門分野の学識者からご意見をいただく機会も考えたい。現時点では委員会の開催は想定していない。

五島漁業協同組合

- 文献調査では過去のデータと現状との比較を行うことになるが、数字だけでは解決できない問題もある。学識者のみでなく、漁業者からの現場の声も収集していただきたい。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 実務者会議でも同様の意見をいただいております、対応していくことを考えている。

東京海洋大学

- 文献による動向調査だと、どうしても統計的な漁獲量の数値だけの把握になる。漁獲量だけで話をしてよいのかということである。漁業影響は漁獲されるような魚だけでなく、もっと小さな魚にも及ぶ。幼魚・稚魚の採取を行って変化を把握するといったきめ細かな調査が必要と考える。
- 供用後の環境監視で、「風車施設のメンテナンス等における作業時に浮体水中部の魚類の蝟集や付着生物の状況を確認・記録する」とあるが、付着していた貝類などの死骸が海底に溜まる可能性がある。モニタリング調査は、浮体に付いているものだけでなく、海底の状況も把握することが今後の環境を考えるために大事である。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 漁業者のお話を聞きながら、引き続き詳細な調査を検討していきたい。また、海底部の調査も項目として考えていくこととしたい。

東京海洋大学

- 水中の調査ではROVなど最新の機器を活用されたい。結果の映像を皆さんに見てもらうことで、理解を深めることも期待できる。

長崎総合科学大学（座長）

- 8月1日付けで海域占用許可証が発行されたが、すぐに工事着工となるのか。

五島フローティングウィンドファーム合同会社

- 現時点で着工が可能な状態になっている。工事は8月の中旬から係留策の設置から始める予定である。

(2) 基金の透明性確保等について

- 五島市より、資料「基金の透明性確保等について」説明。

長崎総合科学大学（座長）

- 資料に、補助事業以外の漁業振興策があるが、補助金による事業と何が異なるのか。

五島市

- 漁業協同組合や市が主体となって行う振興策など、色々なケースが考えられ、補助金によるものではないものもあり得ることからこのような表記とした。

長崎総合科学大学（座長）

- 透明性の確保は議会による審議になるのか。

五島市

- 市の一般財源を使って基金を設けることになるため、収入・支出は市議会で議論されることになる。決算審査といった場で透明性が図られると考える。

長崎総合科学大学（座長）

- 基金の透明性の確保については、五島市より説明された内容で問題ないと判断する。ここにある形で進めていただきたい。

(3) まとめ

長崎総合科学大学（座長）

- 本日は2つの議題についての議論であったが、貴重なご意見やアドバイスをいただいた。説明いただいた内容についても特段異議は見受けられないため、現時点では問題なしということで進めていただきたい。

経済産業省（事務局）

- 漁業影響調査について、専門家のご意見をいただくことは極めて重要である。専門家のコメントは実務者会議の場で共有することも重要と考える。この点から、専門家も実務者会議に入って評価や議論をしていただくと認識している。
- 漁業共生策についても、ご説明にあった漁業振興策について実務者会議の場で内容を共有しご議論いただくと認識している。
- 今後の協議会は、事業の進捗を確認するため、少なくとも年1回は開催することとしている。次回の協議会では、五島フローティングウィンドファーム合同会社から工事の進捗状況、五島市からは基金条例の検討状況をご説明いただくこととし、来年度春頃を目途に開催を考えている。具体的な時期については今後調整する。

以 上